

PTAだより

北斗の星の指すところ

令和8年度10月1日発行
編集発行

北海道稚内高等学校PTA
住所 北海道稚内市栄1-4-1
電話 0162 (33) 4154



～秋は学びの季節です。
今後の学年の仕上げに向けて
頑張っていきましょう～

PTA会長 白川 哲也

ここ最近、急に寒くなってきましたが、今年も稚内らしからぬ蒸し暑い夏をお過ごしだったのではないのでしょうか？ 一学期は入学式以降、高体連、学校祭や受験に向けた模試など学校としての大切な取り組みが行われ、先生方・生徒の皆さんにとっては忙しく大変な時期だったことと思います。私たちPTAの活動では、一斉委員会・専門委員会を開催させていただきました。その中では、今年度の広報誌、研修活動、学校祭での仮想行列の給水など、私たち保護者が出来るものについて検討され、今年度を通して様々な活動が実施される予定です。（この広報誌が発行される頃にはPTA研修事業についても滞りなく進行していることと思います。）

紙面をおかりしてのご報告となりますが、先日、今年度の北海道高校PTA連合会の研修会・岩見沢大会に小林校長とともに参加させていただきました。二日目については分科会となり、二人ともそれぞれの分科会に参加させていただきました。参加者同士での実務レベルの話し合いは、参加しているPTA関係者・学校関係者の皆様の熱量を感じられる活発な討議となりました。今回はPTA活動について交流する場となりましたが、それぞれの良いところや改善点について、いろいろな話し合いがなされ、PTA独自の各種活動についても紹介されていました。今後の稚内高校PTAとしての活動の方向性を考える上でもとても学ぶことの多い時間とすることが出来ました。（全国研究大会の報告は後日）

これから下半期に突入し、生徒のみなさんにとっても大切な時期となります。特に3学年は受験・就職モードへ突入し、衛生看護科・専攻科においては実習・就職、1・2年生についても今後の進路を見据えた大切な期間となってきました。PTA研究大会の交流でも受験に対する、子ども・親の心構え、向き合う姿勢などについても話をうかがうことができました。まずはお子さんとじっくりと話し合い、将来のあり方を見据えた動きをとることが大切となってきました。今の学年でいるうちに、つけるべき力はしっかりと身につけるよう頑張っていたきたいと思います。

開校103年を迎えた今年度、さらに一步、本校の教育活動へ寄与するため、PTA活動についても深化・発展を目指してまいりますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。



「伝統を守る」とは。

校長 小林 洋介

8月27日（木）、衛生看護科による第1回「宣誓式～看護への誓い～」が実施されました。衛生看護科3年生が臨地実習を前に、これまでの学びを振り返り、今後の学習や実習に向けた決意を新たにすることを目的としています。そして本校では昨年度まで、58回に渡り「戴帽式」の名の下に行われてきました。しかし、医療現場からナースキャップが姿を消して久しくなります。そこでこれまで継承してきた「形」を見直し、ナースキャップ等に託していた思いを、今度は生徒自身の言葉で示すことで、より「本質」に迫るという内容に姿を変えました。式辞では「形は変わります。けれど、変わらないもの、変えてはならないものがあります。人の命を大切にすること、人の尊厳を守ること、そして目の前にいる人に誠実に向き合うことです。」とお話しさせていただきました。

さて、「伝統を守る」とはどういうことでしょうか。「そのままを守る」ことを意味するものではないでしょう。型や手法を絶対視し過ぎると、時代から取り残され形骸化してしまいます。例えば、茶道を通じて世界に日本文化の本質を紹介した岡倉天心は、「茶道とは不完全を愛する道であり、変化や無常を尊ぶ文化」と述べています。また日本文学研究者ドナルド・キーンも同じく、伝統文化にある「変化の中の持続」に注目しており、能や歌舞伎が、時代ごとに内容や演出を変えつつも精神性は保たれている、と解説しています。つまり「伝統」とは、一度も変わらなかったものではなく「変わりながら保持されてきたもの（こと）」と理解できます。

103年目を迎える稚内高校が守ってきた「伝統」とは、と問われた時、それは校訓「誠実 勤勉 和協」に、その本質を求めることができます。しかしそのままの辞書的意味として、変わりゆく時代に無理矢理当てはめてきた訳ではありません。その解釈を時代の要請に合わせ、変化させることで継承しています。その解釈を後ろ盾として、今年度より学校教育目標を「多様な学びを力に 志高く 社会に貢献する人」と、15年ぶりに新たにしました。あらゆる教育活動に紐付けて推進しているところです。もしかするとそれは、「伝統を守る」というよりも「伝統を生かす」という理解に近いような気がします。

今後とも本校教育活動へのご理解ご協力を、どうぞ宜しくお願いいたします。



各委員会の近況報告

総務委員会

総務委員会において、今年度も主たる業務としては、例年通り10月と3月の2度発行する「PTAだより」の作成です。内容としましては、各行事についての記事や新入生・卒業生へ向けた担任からのメッセージ、人気のコーナー「あの先生」など内容盛りだくさんとなっております。また、昨年度より近年のデジタル化の影響を受け、データ配信となっております。委員会で協議しながら、これからも様々な記事を掲載したいと考えております。ご意見がございましたら、遠慮なくお申し付けください。どうぞよろしくお願いいたします。

健全育成委員会

今年度も昨年度に引き続き、「学校祭パレードにおける給水活動」を実施いたしました。本活動におきまして意欲的に活動いただいた健全育成委員の皆様ありがとうございました。本年は雨天のため、校内で配付し無事に実施することができました。ご支援いただいた各方面の方々に感謝申し上げます。4年目となるこの活動も、年々暑さが厳しくなる夏場の学校祭パレードでは生徒からも好評です。今年度の反省を集約し、次年度以降に引き継ぎをしたいと考えておりますので、ご意見等ございましたらご遠慮なくお申し付けください。

研修委員会

本年度の研修会は10/3（土）宗谷ふれあい公園にて「ふれあい交流会」を実施します。まずパークゴルフ（雨天時は室内でダンボールック）を楽しみながら汗を流し、終了後はバーベキュー（ノンアルコール）で皆様との親交を深める研修会を計画しています。すでに御案内し、申し込みも締め切った段階でしょう。この原稿執筆日ではまだ案内も出しておらず、何人参加されるかも分かりませんが、地域の良さを再認識し会員同士の交流が深められると考えています。心配なのは天気。雨でも実施しますが、出来れば秋晴れのもとで行いたいものです。



PTA名寄支部総会の様子



令和8年度入学生 クラス紹介

1年A組 クラス紹介

A組の印象は非常にまじめなクラスです。授業や学校行事など一生懸命取り組んでいます。その一方で、休み時間やみんなで楽しむ場面では、思い切りふざけたり、冗談を言い合ったりする明るさもあります。やるときはしっかりやる、楽しむときは思い切り楽しむ。そんなメリハリのある、元気で温かいクラスです。

これからの様々な場面を、お互いの個性を発揮しながら乗り越えていくことで、今後どのように成長していくのかとても楽しみです！

保護者の皆様におかれましても、今後の生徒の成長をともに見守っていただけたらと思います。



1年B組 クラス紹介

1年B組の生徒は出身中学校が比較的分散しており、入学当初、少なくない生徒が「友達が少ない」という不安を抱えていたと聞きます。しかし、それが周りにつながりたいという気持ちを育んだのでしょう。学校祭での団結力は、目を見張るものがありました。

担任としては、皆が素の自分を出せるような雰囲気を作ろうと思っています。一人一人がのびのびと生活しつつ、他の人を尊重できるようにと願っています。そして、進級しクラスが別になっても大切に思えるような関係性を築いてくれればと思います。

今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。



1年C組 クラス紹介

1Cの自慢は、ひだまりのように明るく穏やかで人懐こく、一歩教室に入るとホッと温かさです。その温かさの理由は、お互いを尊敬する気持ちと男女の仲の良さにあります。学校祭の準備最終日、教室の天井や壁一面を彩る装飾に、係の垣根を越えて全員でギリギリまで飾り付けに取り組んだあの瞬間こそ、1Cらしさが輝いたときでした。

担任として、「尊敬を土台に」と互いを思いやる言葉を掛けてきたからこそ生まれた、見事な団結力と学校祭年次優勝。尊敬という固い土台の上に、1Cはこれからも温かく、時には熱く団結しながら、全員で明るく成長していきます。



1年D組 クラス紹介

挨拶と返事。礼儀と思いやり。これらの指導を続け半年ほど経過しました。入学当初と比べ、各個人が自覚をもって行動できるクラスに成長してきています。

一方、主体性と自己管理、提出物という面についてはまだまだ課題が残っています。

高校生活において、すべきことや考えるべきことの全てを大人から教えてもらえることはありません。自らの課題や改善点を考え行動し、自分自身を律していく。この経験と反省の積み重ねで人は大きく成長します。

今後の長いようで短い高校生活。1年D組の生徒がぶつかりながらも大きく成長していくためにも、保護者の皆様には今後とも温かいご支援、ご協力をお願いいたします。



1年E組 クラス紹介

E組の印象は、入学当初から変わらず「元気!」と「笑顔!」です。

学校祭や体育祭での声援や歓声は、15名とは思えないほどのパワーを感じました。そして、休み時間や放課後も笑い声が絶えません。クラスの半分は市街から稚内高校に入学した生徒で、看護の道を目指して巡り会った仲間です。これまでの経験や考え方はそれぞれ違います。だからこそ、自分のことだけでなく、周りの仲間の気持ちや立場にも目を向け、互いを思いやることを大切にしてほしいと思います。

夢に向かって努力し、互いに支え合える関係になることを信じています。



稚高祭を終えた生徒会会長から

生徒会会長 3年B組 島田 龍依さん

こんにちは。生徒会長の島田龍依です。今回、生徒会執行部として学校祭運営に携わった感想をお話します。

まずは、昨年に引き続き、準備期間から運営に携わってくれた、文化委員や風紀委員、実行委員のみなさん、本当にありがとうございました。感謝してもしきれません。皆さんのおかげで無事に学校祭を完走することができました。生徒会執行部のみんなも、クラスの手伝いもありながら、生徒への対応、急な運営の指示など臨機応変に取り組んでいる場面を何度も見てきました。このメンバーで最後の学祭を乗り越えられたことを誇りに思います。本当にありがとうございました。

今年はあいにく天候に恵まれず、雨天により恒例のパレードが中止になってしまいました。スタートから変則的になってしまい、運営一同、全校生徒が不安を抱いたことと思います。しかし、ファッションショーが開催され、天気のを忘れるほどに盛り上げてくれた生徒の皆さんには感謝しかありません。このファッションショーは十数年ぶりの開催であったということで、前向きに捉えれば、異例で特別な経験をできたのだと思います。

その後の自由発表やクラスパフォーマンスなどでも、1人1人の盛り上げようという気持ちや、純粋に楽しんでいる様子が感じられ、あの熱量はいつまでも忘れられないものになりました。

そして、今年度もMVPを発表させていただきます！それは、『三十路』の先生方です！自由発表のラストを飾った先生方5名による特別ユニット『三十路』は、凝った演出からその後披露した2曲まで、完成とコールのやまないステージを届けてくださいました。全校生徒での三十路コールや楽曲をみんなで合唱したあの瞬間は、会場が1つになったかけがえのない時間でした。

MVPは『三十路』と発表しましたが、今年の学校祭に協力してくれた全校生徒、私たちの活動をサポートしてくれた先生方、そして学校祭を作り上げた生徒会執行部、稚内高校全員がMVPであった学校祭でした。これまでの歴史を遡っても過去一番「ありがとう」が飛び交った学校祭だったと思います。この行事を通して深まった絆を大切に、これからの学校生活を送っていきましょう。

全校生徒の皆さん、先生方、並びにご協力いただいた関係者・保護者の皆様、本当にありがとうございました。今後も、稚内高校をよろしくお願いいたします。



令和7年度 第3年次普通科合格状況

国公立四大・短大	人数
小樽商科大学	3
北海道教育大学旭川校	2
北海道教育大学札幌校	2
北見工業大学	1
室蘭工業大学	1
公立千歳科学技術大学	1
公立はこだて未来大学	1
釧路公立大学	1
名寄市立大学	1
弘前大学	3

私立四大・短大	人数
札幌大学	17
札幌学院大学	15
札幌保健医療大学	1
藤女子大学	1
北星学園大学	8
北海学園大学	43
北海道医療大学	3
北海道科学大学	2
北海道情報大学	2
北翔大学	6
北海道文教大学	2
北海道千歳リハビリテーション大学	1
日本医療大学	2
育英館大学	1
法政大学	3
駒澤大学	1
國學院大學	6
東北学院大学	1
東北福祉大学	1
新潟医療福祉大学	1
大阪芸術大学	1
近畿大学	1

専門学校	人数
札幌ミュージック&ダンス・放送専門学校	1
札幌デジタル&どうぶつ・医療・観光専門学校	1
札幌科学技術専門学校	1
札幌看護医療専門学校	1
札幌こども専門学校	1
札幌デザイン&テクノロジー専門学校	1
札幌ブライダル&ホテル観光専門学校	1
札幌ミュージック&エンターテインメント専門学校	1
専門学校札幌デザイナー学院	1
専門学校札幌ビジュアルアーツ	1
専門学校北海道リハビリテーション大学校	1
専門学校北海道福祉・保育大学校	1
北海道文化服飾専門学校	1
北海道理容美容専門学校	1
吉田学園医療歯科専門学校	1
東京ブライダル&ウェディング専門学校	1

民間就職	人数
株式会社漁連道北食品	1
自己開拓	1
縁故	1

令和7年度 第3年次商業科合格状況

私立四大・短大	人数
札幌大学	1
北翔大学	1
育英館大学	1

専門学校	人数
大原簿記情報専門学校	2
大原法律公務員専門学校	1
経専音楽放送芸術専門学校	1
専門学校札幌ビジュアルアーツ	1
札幌ほいく専門学校	1
札幌デザイン&テクノロジー専門学校	1
札幌ブライダル&ホテル観光専門学校	1
北海道札幌観光・ブライダル製菓専門学校	1
北海道美容専門学校	1
北海道どうぶつ・医療専門学校	1
吉田学園医療歯科専門学校	1
札幌ミュージック&エンターテインメント専門学校	1

民間就職	人数
稚内信用金庫	2
瀬戸漁業株式会社	1
北海道信用漁業協同組合連合会	1
中田組	1
石塚建設株式会社	1
株式会社ぎょれん道北食品	1
株式会社ハスコムモバイル	1
株式会社ユーラステクニカルサービス	2
ニッポンレンタカー北海道株式会社	1
ハートランドフェリー株式会社	1

公務員	人数
稚内市役所	1
北海道警察行政職員	1

卒業生の皆さんの今後のご活躍とご多幸をお祈りしています。

令和8年度 北海道稚内高等学校 各H R担任&副担任・P T Aクラス役員一覧

	HR担任	HR副担任	総務委員会	研修委員会	健全育成委員会
1 A	佐藤 遼太	奥山 さくら	山寺 幸和日	岩谷 高子	北島 美保
1 B	藤原 慶太	前多 昌樹	寺下 美江	石垣 織江	佐藤 直樹
1 C	長田 風花	山村 崇太	根上 栄子	杉本 淳子	秦 ひろみ
1 D	岩崎 勇司	五十嵐 悦史	飯田 純果	加藤 正恵	江川 あさき
1 E	菅生 達志	杉山 ひなこ	遠藤 幸子	藤井 亜紀子	白幡 明子
2 A	松岡 輝真	コップ・オースティン	佐々木 めぐみ	吉村 理香	香川 愛
2 B	森岡 祥平	佐竹 一嘉	阿部 直美	吉田 由梨奈	菊地 真紀
2 C	西田 命	平井 智乃	及川 あずさ	原田 裕史	大西 美香
2 D	稲 瑞希	桑原 千絵	荒関 千春	小玉 利恵	石垣 真奈美
2 E	加藤 大幹	古川 なほみ	木全 直美	熊谷 美乃里	佐々木 彩
3 A	増井 達信	大橋 克哉	石川 タ子	中田 麻美	工藤 愛
3 B	鈴木 健人	菅野 慎太郎	佐藤 千晴	澤野 美穂	宮嶋 梨歌
3 C	安藤 幸司	降旗 孝雄	瀬川 真優	濱田 春美	川野 美香
3 D	三浦 静也	樺島 青	小松 薫	加嶋 絵梨子	長谷川 志津香
3 E	源 泰介	永井 直美	天野 美穂	菅原 ゆかり	塚本 沙織
					(敬称略)

各ホームルーム役員の皆様には、日頃より本校のP T A活動にご尽力いただき、ありがとうございます。
今後とも、ご理解とご協力の程、お願いいたします。

大好評！

あの先生

他己紹介
ボタン

鵜沼先生の紹介

森岡先生の紹介



3年次付
担当教科/理科



2年B組担任
担当教科/理科

私が紹介するのは、同じ理科教員の鵜沼佑規(うぬまゆうき)先生です。鵜沼先生は昨年度稚内高校に赴任しました。鵜沼先生の専門科目は化学で、テニス部の顧問をしています。生徒から聞いた噂では、相当テニスが上手いそうです。仕事がはやい・優しい・身長が高い等、非の打ち所がない鵜沼先生は、同じ理科教員として憧れの存在です。

個人的な話になりますが、私と鵜沼先生のファーストコンタクトは、鵜沼先生が稚内高校へ赴任する前年度末の研修でした。共通の知り合いの先生が稚内高校で勤務していたことから話しが弾み、最後に私が「次は稚内高校へ来てください」と言ったためか、次年度に鵜沼先生が稚内高校に赴任しました。非科学的ですが、言霊はあるのかもしれませんね。

稚内高校にとって欠かせない存在である鵜沼先生、これからも頼りさせていただきます！

私が紹介させていただくのは、2年B組担任の森岡先生です。森岡先生は、いつもおっとりとした穏やかな雰囲気をもとにしながら、生徒一人ひとりの進路について真剣に考えている先生です。進路指導部に所属し、学校全体や年次の進路に関わる業務を実直に取り組んでいる姿が印象的です。

そんな穏やかな印象の森岡先生ですが、大阪出身ということもあり、心の奥底に「関西」を秘めています。普段の落ち着いた姿からは想像できない、一面が顔を出すこともあるとか。

そんな森岡先生の趣味は、ロードバイクとゲーム。休日にはロードバイクで颯爽と走っているかと思えば、家ではゲームに熱中しているそうです。学校で見せる真面目で穏やかな姿とはまた違った一面がありそうですね。

生徒の進路を誰よりも真剣に考えながら、実は「関西」を秘め、ロードバイクとゲームを楽しむ森岡先生。まだまだ知られていない一面がありそうです。気になる方は、ぜひ森岡先生に話しかけてみてください。

次回の「あの先生」もお楽しみに！！

編集後記

新しい学年が始まってからの数か月を振り返ると、日々の学習や学校行事の一つひとつが、皆さんの成長につながっていたのだと感じます。本年の学校祭は、天候の関係でパレード発表が室内への当日変更になりましたが、機転を利かせ、クラスの仲間を信じ、一致団結した素晴らしい発表でした。フレッシュな可能性を感じました。

また、教室での何気ない日常の中にも、成長の瞬間が散りばめられていました。テスト前にコツコツと努力を積み重ねる姿、授業に積極的に取り組む姿、友人が悩んでいるときにさりげなく声をかける姿、そんな小さな行動の積み重ねが、クラスの温かい雰囲気をつくり上げていったように思います。

前期で得た経験や学びは、決して一過性のものではなく、後期へとつながる大切な礎です。成功も失敗もすべてが糧となり、皆さんの未来を形づくっていくことでしょう。今回の振り返りを心に刻み、次のステップへと自信を持って進んでいってください。